

宮崎県における栄養・食生活の課題

- 野菜平均摂取量は、241 g と一日に必要とされる350 g に達していない。約9割の人の野菜摂取量が不足している。
- 食塩をとりすぎている人の割合は減少傾向である。しかし、平均摂取量は男女とも日本人の食事摂取基準の目標量を超えていている。
- 脂肪をとりすぎている人の割合は4割近くであり、増加傾向である。
- 子どもや高齢者、女性などの健康維持のために必要なカルシウムや鉄が不足している。

※「健康みやざき行動計画21（第2次）」
より一部改変

資料2

宮崎県における生活習慣病対策の方向性

- 県では科学的根拠に基づき、栄養、運動、休養、喫煙、飲酒、歯などの生活習慣の改善に関する目標値を定め、全国の結果を上回っている肥満者率をはじめとするメタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）の減少やがんのリスク低減などを目標とした施策を進めます。
- メタボリックシンドロームは、高血糖、高血圧脂質異常の状態が重なり、喫煙習慣とあわせ心臓疾患や脳血管疾患などの発症リスクが大きい疾患です。健康診断やがん検診の受診を勧め、早期発見を推進するとともに、運動や食生活を中心とした生活習慣の改善によるがんや循環器疾患などの発症予防を図ります。
- 今後は、生涯にわたるスポーツやレクリエーションの普及をとおした運動習慣の定着及び「食事バランスガイド」の普及を推進するなど、予防に対する理解を深めていくことが重要です。
- 特に、生活習慣病の予防の徹底は、健康寿命を延ばし、医療費の適正化にもつながることから、小児期から適切な生活習慣を身につけるための普及・啓発などに、積極的に取り組むことが重要です。
- 健康に関心のある人の健康づくりの支援にとどまらず健康に関心のない人や、生活習慣病の「予備群」でありながら自覚していない人に対して、「予防」の重要性や生涯にわたる個人の健康や生活の質の向上につながるよう、社会全体として支える環境の整備が必要です。

※「健康みやざき行動計画21（第2次）」より一部改変

資料1

学級の保健委員長の果菜子さんは、来月開催される学年集会において健康な生活を啓発するためのポスター発表を行うことになり、そのための話し合いを学級の保健委員と一緒にしました。次の資料1、資料2及び話し合いの様子（一部）を読んで、後の問い合わせに答えなさい。

資料をもとにして話し合う
〈健康な生活についての話し合い〉

組番 氏名

話し合いの様子（一部）

（前略）

A ところで、この資料1を活用して、ポスターの一部を作成して発表をしたいのですが、医療の専門用語はともかく、ぱっと聞いて分からぬ言葉はありませんか。
B うーんそうだなあ。そうそう、この言葉は何という意味かな。一つめの○の「がんのリスク低減」の「リスク低減」、これは、ちょっと分かりづらいね。

C そうだね。この言葉については、発表をするときに、分かりやすく言い換えよう。どんな言葉が良いと思う。
D こんな言い方はどうですか。

（ア）

A それはいいですね。その言葉で発表しましょう。

（ア）

A 次に、資料1の二つめの○の五行めに「運動や食生活を中心とした生活習慣の改善」とあるけど、これも健康を考える上で大切な要素ですね。特に「食生活を中心とした生活習慣の改善」について、資料2の課題も参考にしながら、皆を啓発するような内容を入れたいと思うのですが、どんな内容を入れれば良いと思いませんか。
C やはり私は睡眠不足の解消を啓発する内容を入れれば良いと思います。夜遅くまでゲームやインターネットなどに夢中になつていて翌日起きられなかつたり授業中に集中力を欠いたりしてしまうことがあるからです。

（後略）

（一）（ア）に入る適切な言葉を書きなさい。

（二）～～～部について、話し合いの話題としてふさわしくありません。あなたが提案するとすればどのような内容を提案しますか。資料2の内容及びあなたの生活経験を踏まえて、次の条件に従つて書きなさい。

条件

- 八十字以上、百字以内で書くこと。

100字